

再編出版するぬまづ昔ばなしの活用による豊かな地域づくり



【事務局】
〒410-0048 静岡県沼津市新宿町 15 - 5
Mail : info@e-monogatari.art

絵物語はウェブサイトでも無料公開中!!
<https://e-monogatari.art>



再編出版するぬまづ昔ばなし「絵物語ぬまづ昔ばなし」とは?

地域独自の昔ばなしを聞き集め、昭和49年に沼津市内の先生方（ぬまづ社会科研究会）が「ぬまづ昔ばなし第一集・第二集」を発行しました。

私たちe-monogatari（えものがたり）は、この本に掲載されているお話を基に22年度より「絵物語ぬまづ昔ばなし」として刊行しています。地元ゆかりのあるアーティストが昔ばなしを絵物語にし、その昔ばなしの舞台である地域の情報も掲載しています。

読んだ後、昔ばなしの舞台に実際に行ってみたくなるような本作りを心がけています。

地域の子とも誰もが、いつでも・どこでも読めるように市立図書館・市内小中学校・地区センター等に無償配布しています。また、ウェブサイトでもデジタル版（PDF）を無償公開し、パソコンやスマートフォンなどから誰でも自由に読めるようになっています。

年4巻ペースで刊行中です。令和6年10月現在、第九巻まで発行しております。



事業目的 昔ばなしを通じて地元愛を深める

ぬまづ昔ばなしの活用による青少年の健全育成、地域のつながり強化、シビックプライドの醸成を目的とする事業です。

- ①物語舞台の掘り下げと、今を伝える情報の取材
本誌では伝えきれない地域の情報をウェブサイトにて公開
- ②新たな地域の昔ばなしや戦争体験およびその語り部の発掘・整理
地域の昔ばなしや戦争体験およびその語り部の発掘・整理
- ③地域・地区独自の活動やイベントの発掘・整理
地域の方から見聞きした地域独自の活動やイベントの発掘・整理
- ④観光ボランティアと連携したガイドの制作
観光ボランティア様と共にぬまづ昔ばなしをもとにしたガイドを作成
- ⑤読み聞かせ動画の制作
読み聞かせ動画の制作・ウェブサイトにて公開
- ⑥紙芝居の制作と「ニッポン全国街頭紙芝居大会inぬまづ」での発表

現状と目標 昔ばなしを起点に広がる

地域に伝わる昔ばなしを未来へつなげるために「絵物語ぬまづ昔ばなし」を刊行をし、沼津市内の小中学校・公共施設等に無料配布を行っています。手元に欲しいという声を多くいただいたのでマルサン書店等でも販売もはじめました。読み聞かせ活動の1冊に選んでいただいたり、学校図書館で特設コーナーを作っていただいたりと、この書籍の存在を知っていただいた方には好評を得ています。しかし現状では、まだまだこの書籍の存在が広く認知されていないと痛感しております。刊行したただけでは「沼津の昔ばなし」を未来につなげることはできないのではないかとこの思いから「書籍活用による豊かな地域づくり」という活動を開始しました。活用には地域の方を巻き込み当事者になってもらい、一人ひとりが自分の住む地域の昔ばなしや情報を未来へ運ぶ語り部になってくれると願っています。今後は刊行と活用を続けていき「昔ばなし」を起点に多くの方が地域の歴史や情報を学び、自分の住む地域への愛（シビックプライド）が深くなる、そんな事業に育てていきたいです。

振り返り課題 昔ばなしをより多くの方に

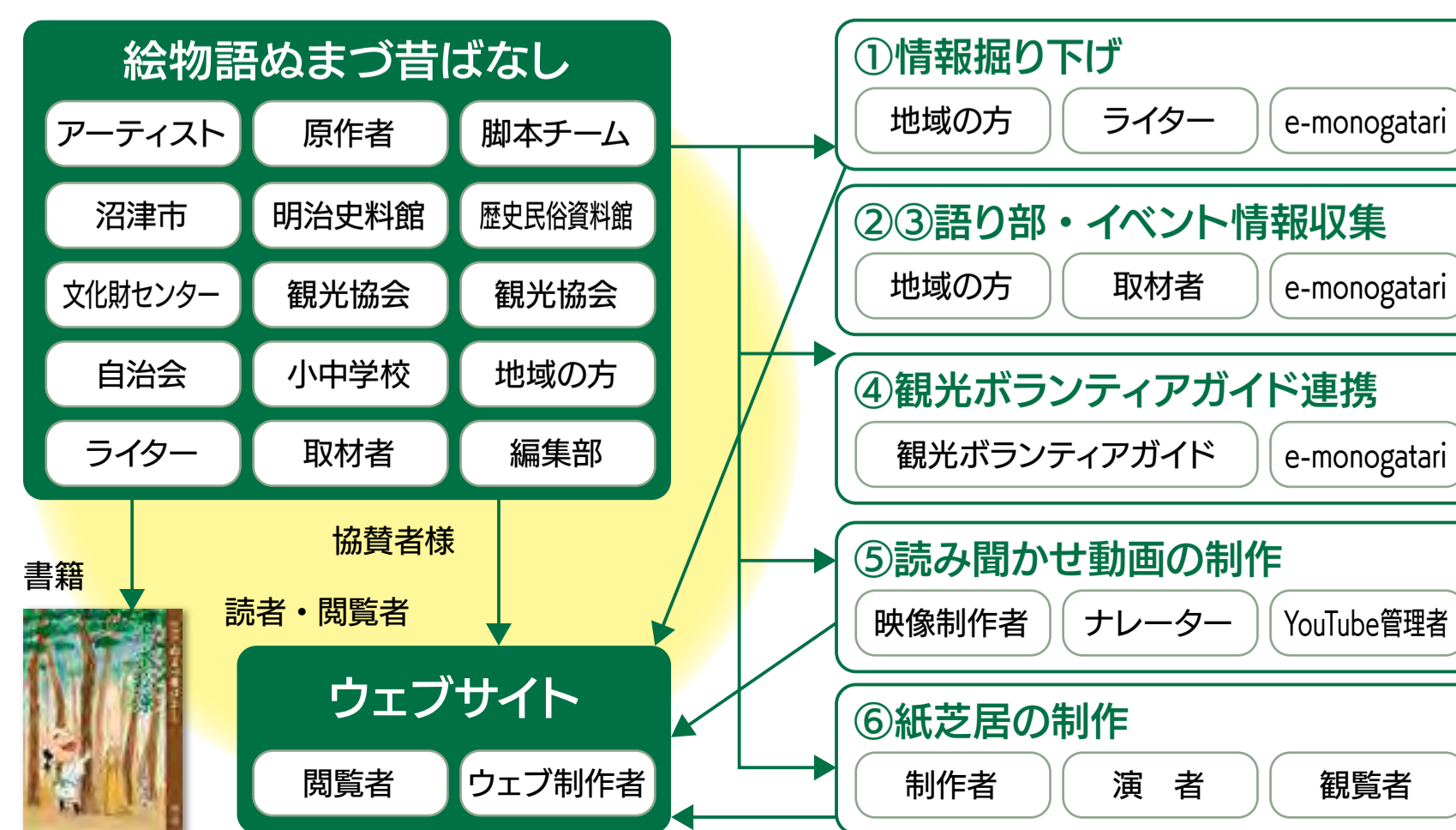
- ①物語舞台の掘り下げと、今を伝える情報の取材
アップした情報も見てもらわなくては意味がないので、今後はウェブサイトの周知も行っていきます。
- ②新たな地域の昔ばなしや戦争体験およびその語り部の発掘・整理
お話をより広く聞き取る方法を模索し、収集したお話のまとめ方や発信の仕方などを検討していきます。
- ③地域・地区独自の活動やイベントの発掘・整理
収集した情報をまとめ発表する方法を模索し、沼津市全域のイベント歳時記を残していきたいと思えます。
- ④観光ボランティアと連携したガイドの制作
ぬまづ昔ばなしをもとにしたガイド資料制作を進め、活用方法を模索していきます。
- ⑤読み聞かせ動画の制作
動画は毎巻制作を続け、より多くの人に視聴してもらえるように周知していきます。
- ⑥紙芝居の制作と「ニッポン全国街頭紙芝居大会inぬまづ」での発表
紙芝居も毎巻制作を続け、いろいろな所で上演できるようにしていきます。

活動と成果 昔ばなしをより深く

- ①物語舞台の掘り下げと、今を伝える情報の取材
書籍では掲載しきれなかった情報や沼津が大好きなライターが新たに取材した記事、地域情報などをウェブサイトにてブログ形式で発信しています。
- ②新たな地域の昔ばなしや戦争体験およびその語り部の発掘・整理
書籍づくりと並行して地域の方を取材し、地域の昔ばなしや戦争体験をアーカイブしています。昔のことを話せる方が減る中で、地域ネットワークと連携して語り部を掘り起こすことができました。
- ③地域・地区独自の活動やイベントの発掘・整理
書籍づくりをする中で関わっていただいた、地域の方から見聞きした地域独自の活動をまとめています。今後ウェブサイトなどを通して公開していきたいと考えています。
- ④観光ボランティアと連携したガイドの制作
観光ボランティア様と一緒にぬまづ昔ばなしを素材とした資料制作を検討してきました。市内内外の多くの人たちに沼津の物語を楽しんでもらえるよう連携していける方向性が見えました。
- ⑤読み聞かせ動画の制作
本よりも動画のほうが親しみやすい方にも楽しめる媒体として制作しました。読み手には、声で仕事をされている沼津ゆかりの方にご参加いただき、クオリティの高い動画を制作することができました。読み聞かせ動画から書籍を知ってもらうことにも期待できそうです。
- ⑥紙芝居の制作と「ニッポン全国街頭紙芝居大会inぬまづ」での発表
第一巻「天狗のすもう」の紙芝居を制作し、紙芝居大会の子ども部門の課題作品として上演していただきました。制作した紙芝居はウェブサイトからダウンロードできるようにしました。



相関図 事業を通してつながった人たち



書籍制作には沼津市をはじめ、絵物語の舞台の地域自治体や学校・お寺・神社など、多くの方にご協力いただいています。特に地域の方のご協力は刊行を重ねる度に大きくなっていきます。地域情報ページを高校生が取材し制作する取り組みもはじめています。昔ばなしを中心に地域の子どもから高齢者まで巻き込み、地域のことを楽しく学べる活動にしていきたいと思えます。